



看護は元気をリレーする!

《整肢会経営理念》

“人間愛” 私たちの喜びです。

《整肢会経営方針》

整肢会は、患者様の命と人権を尊重し、プライバシーを遵守して、安心と思いやりのある医療を実践します。

整肢会は、患者さまの安全を確保し、十分な情報提供により、理解と納得に基づいた高度で妥協なき整形外科専門の医療を実践します。

整肢会は、総力をあげ医療・福祉機関との連携を深め、地域に望まれる、より良い医療の提供を実践します。

特定医療法人 整肢会

副島整形外科病院 / 副島整形外科クリニック

「第41回日本肩関節学会」が、10月24日(金)25日(土)の二日間、佐賀市の佐賀市文化会館で開催されます。本学会は佐賀県では初めて開催されます。

国内外より肩専門の先生が多数集い、現在「未来・日本」世界へむけて肩関節疾患について発表し議論する学会です。また同時に「第11回肩の運動機能研究会」が開催されます。

理学療法、看護などの肩疾患の治療にかかわる医療職が集い、学び合う研究会です。「第41回日本肩関節学会」「第11回肩の運動機能研究会」開催にむけて関連するスタッフは日々

奮闘しています。また、学会発表の準備も各部署で進めており、この学会が、今後の肩関節疾患治療に役立つものと考えています。

ご案内

第41回 日本肩関節学会

The 41st Annual Meeting of Japan Shoulder Society

Globalization
～日本から世界へ～

会期 平成26年10月24日(金)・25日(土)
会場 佐賀市文化会館
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出1-21-10
会長 森澤 佳三 (特定医療法人 整肢会 副島整形外科病院 院長)

合同開催 第11回 肩の運動機能研究会

会長 西川 英夫
(特定医療法人 整肢会 副島整形外科病院 診療部長)

特定医療法人 整肢会 副島整形外科病院
〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡7641-1
TEL 0954-22-4526 FAX 0954-22-4528
E-mail: jss41@soejimaseikei.or.jp

株式会社西日本企画サービス 事業部
〒839-0809 福岡県久留米市東合川3-10-36
TEL 0942-44-5800 FAX 0942-44-6655
E-mail: jss41@nksnet.co.jp

<http://www.nksnet.co.jp/jss41/>

特定医療法人 整肢会



〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡7641番地1 TEL.0954-20-0388 FAX.0954-20-0377
〒843-0024 佐賀県武雄市武雄町大字富岡7724番地1 TEL.0954-22-2155 FAX.0954-23-4275

<http://soejimaseikei.or.jp>

【後編】 朝晩も涼しくなり、夜はあちこちで虫の音が聞こえ、ようやく秋らしく過ごしやすい季節になりました。よく「○○の秋」といいますが、皆さんはどのような秋をお過ごしでしょうか？私もスポーツや読書とやりたいところですが、食欲の秋を満喫しています。そして秋といえは、台風シーズンでもあります。日本各地で様々な自然災害が発生し甚大な被害が出ています。災害への備えを再度確認し、安全安心の医療を提供できるよう努めます。



地域連携室だより

平成26年8月4日に第5回佐賀医療連携研究会及び第25回地域連携診療計画意見交を開催いたしました。今回の特別講演では、佐賀大学医学部 肝臓・糖尿病・内分泌科 教授 安西慶三 先生による『糖尿病における感染症診療の考え方』というテーマでわかりやすく話していただきました。

安西先生の講演内容は、

- 近年、高齢化が加速していることで、周術期における治療もかなり複雑になっている。
 - 周術期の患者の方々には、糖尿病に罹患している方が多い。
 - 血糖コントロールが出来ていない方が多い。
 - 外科的手術を行う上で、術前・術中・術後の血糖コントロールが重要である。
 - さまざまな診療科では、感染症が問題になっており、気管支炎・敗血症に関する糖尿病患者では、非糖尿病患者に比べて平均在院日数が約1週間も延長している。
 - 好中球機能の検討の結果、食後の血糖上昇だけでも食能は低下する。
 - 術前だけでなく、術中あるいは術後の血糖管理が重要であり、血糖管理が感染症を防ぐ。
 - 周術期や感染予防の血糖コントロール目標値はHbA1cではなく、血糖値が重要である。
 - 糖尿病を合併している患者においては、医療従事者間の連携も重要である。
- 以上のとおりでした。

今回参加頂きました医療・福祉機関の皆様たいへんありがとうございました。今後ともより一層のご支援、ご連携のほどをよろしくお願いいたします。



地域連携診療計画データ

平成25年7月～平成26年6月

大腿骨頸部骨折で当院へ入院した患者数	128人
大腿骨頸部骨折で入院した患者のうち、地域連携診療計画を適用した患者	44人
大腿骨頸部骨折で入院した患者のうち、地域連携診療計画を適用しなかった患者	84人
地域連携診療計画を適用した当院における平均在院日数	23.5日
地域連携診療計画を適用しなかった当院における平均在院日数	24.7日
対象疾患で入院した患者のうち、地域連携診療計画の適用した平均総治療期間	74.9日
対象疾患で入院した患者のうち、地域連携診療計画の適用しなかった平均総治療期間	43日
地域連携診療計画を適用した患者のうち、最終的に在宅復帰した患者数	37人
地域連携診療計画を適用しなかった患者のうち、最終的に在宅復帰した患者数	68人



初日に雨の影響もありましたが、2日間で220名の方に参加してもらいました。今年は、血管年齢測定器を借りて実施したところ、参加者からは「測定してみたかった」「嬉しい」などの感想があり好評でした。その他、骨密度測定や筋肉量、体脂肪測定など実施した後に日常生活で気を付ける事や日々の運動指導、食事指導を行いましたところ、みなさん満足されていました。また、来年も看護の日イベントでスタッフ同お待ちしております。

開催日 / 平成26年5月12日(月)、13日(火)2日間
 開催時間 / 10時～17時まで
 内容 / 骨密度測定
 体脂肪・筋肉量測定
 血管年齢測定、血圧測定
 健康相談・指導
 リハビリ相談・指導
 栄養相談・指導
 アロマハンドマッサージ
 記念品 / アロマ石鹸、アロマミスト、バスソルト、看護協会からの絆創膏、ボールペン、エステ室から日焼け止めクリームなど

看護の日

イベント実施報告

